

K A K E G A W A
 かがわ 第20号
**市議会
 だより**

平成21年5月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



掛川中央幼稚園 幼稚園部入園式

おもな内容 ————— CONTENTS

● 2月定例会の経過	2 ページ
● 議案質疑	3 ページ
● 特別委員会委員長報告	4 ページ
● 一般質問	6 ページ
● 審議結果	11 ページ
● 傍聴席 / 6月定例会の予定	12 ページ

平成21年度掛川市各種会計予算規模の前年度比較表

会計区分		21年度	20年度	対前年比(%)
一般会計		396億円	415億円	4.6
特別会計	国民健康保険 1	97億5,700万円	97億4,730万円	0.1
	老人保健 2	1,515万円	7億7,065万円	98.0
	後期高齢者医療保険	9億7,817万円	8億9,950万円	8.7
	介護保険 3	71億5,342万円	70億8,177万円	1.0
	公共下水道事業	27億4,781万円	33億3,664万円	17.6
	農業集落排水事業	3億3,650万円	2億7,851万円	20.8
	浄化槽市町村設置推進事業	2億4,131万円	2億3,403万円	3.1
	其他会計	6億396万円	6億9,699万円	
	計	218億3,332万円	230億4,539万円	5.3
企業会計	病院事業 4	105億5,718万円	106億1,989万円	0.6
	水道事業	48億1,262万円	49億6,845万円	3.1
	計	153億6,980万円	155億8,834万円	1.4
合計		768億312万円	801億3,373万円	4.2

特別会計ほか

- 1 国保税収の不足額を支払い準備基金3億円を取り崩して補っている。本年度末の基金残高は2,800万円程度となり、来年度以降の運営に向けて国保税率見直しが必要か？
- 2 平成20年度より「後期高齢者医療保険」に移行したが、診療報酬等の請求期間が3年であるため、老人保健特別会計は平成22年度まで継続。
- 3 本年度から3年間の第四期事業計画に基づくもの。前期に比べ平均月額500円のアップ。(介護保険料3,800円 4,300円)
- 4 一般会計から9億円の繰り入れを行うものの、8億円余の赤字見込み。収入確保・経費削減のノウハウをもった人材の登用などにより、更なる経営改善に取り組む方針。

議案質疑

平成21年度掛川市一般会計予算

問 地域環境整備調整費が前年度と比較して一億円少ない。予備費も少ないなか、どう対応するのか。

答 各地区からの要望を集約し、必要性、緊急性、公平性を考慮し対応していく。

問 今後は、財政需要と収入見込みを見極めながら、補正予算による増額を念頭に、可能な限り前年度に相当する予算確保に努めていきたい。

答 小学校就学援助費、中学校就学援助費それぞれ何人分を見込んでいるのか。

問 経済的に困難な家庭に、学校に必要な費用の一部を援助する制度で、小学校百九十六人、中学校百三十八人を見込んでいる。

平成20年度掛川市一般会計補正予算(第4号)

問 定額給付金支給事業費について、地方に負担を掛けないとの国会答弁であったが、一般財源を算出する根拠は何か。

答 国が示した補助対象以外の事務費、例えば、外国人用PRチャラシや支所の現金輸送警備費などを、市独自で上乗せ計上しているためである。

問 定額給付金の申請業務など、提案されている職員数で対応できるのか。

答 本庁及び支所で申請、相談窓口を開設。正規職員七人、非常勤職員四人の計十一人で対応する。通常業務に加えての兼務業務となるため、課内の相互協力で事業に臨んでいく。書類審査及び市民に対する窓口対応など、間違いが発生しないよう万全を期していく。

平成21年度 掛川市当初予算

～ 家庭でいえば、預貯金を取り崩してやっと工面した平成21年度予算～

平成21年度の掛川市一般会計予算396億円で、前年度比 4.6%、19億円の減となりました。

一般会計

歳入で見れば

- ・ 歳入の特徴としては、急激な景気悪化の影響などにより、法人市民税が半減するなど歳入の柱である市税が前年度に比べ22億円もの減収見込み。
- ・ 大幅な財源不足が生じたことから、各家庭でいえば貯金にあたる財政調整基金から18億円余を取り崩して財源確保。
- ・ 財政調整基金の21年度末残高は3億400万円と心細いものに。
- ・ 借金は新たに増えるものの今までの借金の返済元金を約10億円下回るものに努力した。



歳出では

- ・ 新病院の建設に向けて、新病院建設基金への2億円積み増しを行うほか、新たな地域医療体制確立のための調査を予定。
- ・ 本年4月開園の掛川中央幼保園に続き、来年4月開園を目指し、三笠幼稚園の建設を予定。
- ・ 子供医療助成事業費において入院時の自己負担金無料化を中学生まで拡大するほか、妊婦健診の公費負担の回数を14回まで増やす。
- ・ 南北幹線道路整備事業では、7億4,800万円を確保。前年度の繰り越し分と合わせ、事業の進捗が期待される。
- ・ 環境対策として、新たに太陽光発電施設や太陽熱利用施設の促進を目的に補助金制度を設置、新規に579万円を確保。

二月定例会の経過

二月	三月
27日 本会議「市長施政方針、各議案提案理由説明及び補正説明	27日 本会議「各議案補正説明
	2日 本会議「平成二十年度補正予算関係議案等質疑、一部議案採決、常任委員会付託
	4日 本会議「常任委員会付託
	10日 本会議「常任委員会委員長報告(平成二十年度補正予算関係議案)質疑、討論、採決
	11日 特別委員会委員長報告
	12日 本会議「一般質問
	16日 本会議「平成二十一年度予算及び条例関係議案等質疑、常任委員会付託
	17日 常任委員会「付託議案審査
	24日 本会議「常任委員会委員長報告(平成二十一年度予算及び条例関係議案等)質疑、討論、採決(人事関係議案)市長提案説明、採決、議案提案(意見書)採決、議員派遣採決



- ・脳血管疾患や糖尿病などの生活習慣病の予防、生活不活発病の予防対策を進める
- ・指導者の確保、取り組みを支援するボランティアの育成
- 二 住み慣れた地域で生涯安心して暮らせる支援体制の構築
 - ・地域の方々と共に生活をするため在宅福祉・在宅介護サービスの実を図る
 - ・在宅での生活を積極的に支援できるよう、介護職員の充足、サービスの充実など支援体制の整備
- 三 生きがいを持って自分らしい生涯を送れるような仕組みの構築
 - ・老人クラブやシルバー人材センターの会員数を増やし、活性化を図る
 - ・介護支援ボランティアの育成とボランティア制度導入に向けての検討
 - ・世代間交流を積極的に図る

三次の二路線について県施行での事業化を求めていくこと

（仮称）森・掛川インターチェンジに連結する掛川西環状線は、北遠地域や新東名からの工八への進入道路として最適であるため、各市町間を連結する道路として整備。

現在、世界規模での景気後退や経済不安の状況下、本市においても大きな税収減が予測され、本特別委員会も熱い議論が展開されてきた。

調査・研究していく課題については、「合併前後の財政状況の比較」、「新病院・南北幹線道路など大事業と財政計画」、「扶助費の状況」、「下水道財政計画」、「現在の病院経営」、「財政健全化判断比率」とし、「二月までに八回の特別委員会を開催、現状と将来推計を模索しながら討議を進めてきた。

将来にわたって本市の確実な財政運営を図るべく、次のとおり提言する。

一 自治体病院の存続の最新事例として、新病院建設に国県の補助金支援を要請していくこと

二 新病院建設に向けて事業の選択と集中を行い、これらの事業費を新病院建設に充てること

財政問題 特別委員会

七 確実な財政計画を策定し、年度ごとに事業の進捗などローリングを掛けていくこと

経済の先行きが見えなく、生活の安心が保てない現在、市民の生活を守るため、市政は将来の投資を削りても市民の生活に密着した施策にシフトする必要がある。

四 地域事情にあつた下水道施策の一つである浄化槽市町村設置型を推進すること

五 市内業者の育成を図り、仕事が急減している地元建設業者に発注すること

六 少子高齢化社会の中、年々引き上がる医療費、介護保険料や扶助費などを抑制していくためにも、市民一人ひとりが健康で自立した生活を送るよう健康づくり施策を推進していくこと



特別委員会委員長報告

特定の案件を審査するために設置された特別委員会は、それぞれのテーマに基づき、一年間施策の検討を行ってきました。

2月定例会において、検討内容や提言について、各委員長から報告がありましたので、要旨を掲載いたします。

地球温暖化対策 特別委員会

「明日の工コでは間に合わない」
CO₂（二酸化炭素）削減が叫ばれ、地球温暖化防止に、官民あげて取り組むべき時期が到来している。掛川市もこの問題に危機感を持って対処していくために、本委員会は一年かけて調査・研究を行った。

掛川市においては、マイバック運動、ごみ減量作戦等で、環境大臣賞を受賞したが、全国的にも注目に値する掛川独自の先駆的な新施策の展開が、まだまだ必要と考える。

「質」においての環境日本一」を目指すために、掛川版低炭素社会の実現に向け、次の提言をした。

施策体系整理

- 一 全庁体制で取り組む
- 「環境基本計画」に定められている各施策を適する部署へ速やかに移行し、全庁体制で推し進める必要がある。
- 二 外郭団体の組織確立を図る
- 市民、事業者を巻き込むためには、NPO組織等の確立に寄与する政策展開を考える必要がある。

主要施策

- 一 環境教育
 - 環境教育の、掛川版環境カリキュラムの作成
 - 学校等への太陽光発電施設の設置
- 二 自然エネルギー
 - 太陽光発電施設及び太陽熱利用施設等への中長期的な補助制度
 - 市民ファンド等による、「市民共同発電」的発想の検討
- 三 自然保全
 - 温室効果ガスを吸収する森林の適正な管理区域の指定及び砂防林の保護、砂丘飛砂対策活動の推進
 - 森林保全及び防災林保護・砂丘飛砂対策については、地元自治会、事業者、外郭組織、NPOや環境団体等）との連携活動の検討



健康・福祉対策 特別委員会

少子高齢化の時代に市民の健康増進策、医療介護など高齢者に関する施策について、調査・研究をするために設置した。

研究・討議の三本柱

- 高齢者の健康づくり
- 介護の現状と介護予防
- 高齢者の生きがいづくり

研究協議の経過

掛川市では、昨年三月に「健康長寿で笑顔あふれるまち」をキャッチフレーズに、健康増進計画「健康かがわ21」が策定された。

当委員会は、本市における高齢者状況、介護保険と在宅福祉の現状、取り組んでいる健康増進計画・健康課題などについて認識を深めながら、委員会七回、さらに先進地視察を重ね研究を深めた。

提言

- 一 病気や介護の予防および健康づくりの推進
- ・生涯を通じて健康づくりに関心を持ち、積極的に・継続的に取り組める環境の整備

一般質問

Q&A

Q 二十年度・二十一年度と、がんばる地方応援プログラムにエントリーした市民グループが活躍している。市役所や観光協会等、公的な仕事上の観光ではなく、市民が楽しむ

掛川の観光に市民力の活用を

A 市民総参加のごみ減量や買い物袋持参は大事だが、他自治体でやっていないことを考えられないか。また、浜岡原発リブレース計画の安全性確認を国や中電に要求すべきではないか。

A 環境施策に磨きをかけて、質での環境日本一である環境都市を目指す。新規の環境配慮活動として、エコポイント等の施策を進めていく。

原発立地については、浜岡だけを見るのではなく、もっと広い視野で他地域をみてもらえるよう社長、副社長に申し入れしている。



太陽光発電のまち(群馬県太田市)



再生される砂防林

Q 南部地域で「合併して損をした」という声をよく耳にする。「税金が高くなった。都市計画税の用途がはっきりしない。事業内容を見ても、旧掛川市に集中している感が強い」という声を聞くがどうか。

A 平成二十年度の都市計画税は約十七億円で掛川・大東・大須賀地区の構成比はおおむね七対二対一である。歳入と歳出の単純比較では掛川地区が突出しているというわけではなく、南部でも非常に有効に活用されている。

【他の質問事項】
安全安心な生活

Q 二月定例会施政方針から市長の政治姿勢を伺う

A 市長公用車は廃止するというのが、その真意はどこにあるか。また、施政方針、行政報告を通して「ばらまき、人気どりの感を持つ」との批判にどう応えるか。

A この四年間に市長公用車を使わず三千万円余の節約ができたと思う。これをバスの赤字対策に使ってほしい。市長の特権として市長公用車を使う時代ではない。

今年度予算は財政が非常に厳しく、次年度以降の課題や研究・調査をしていく年と考えている。決してばらまき予算ではない。

環境都市宣言をするためにすべきことは

桑原百合子(みどりの会)

Q 市民総参加のごみ減量や買い物袋持参は大事だが、他自治体でやっていないことを考えられないか。また、浜岡原発リブレース計画の安全性確認を国や中電に要求すべきではないか。

A 環境施策に磨きをかけて、質での環境日本一である環境都市を目指す。新規の環境配慮活動として、エコポイント等の施策を進めていく。

原発立地については、浜岡だけを見るのではなく、もっと広い視野で他地域をみてもらえるよう社長、副社長に申し入れしている。

いまだに残る「合併して損した論」を検証する

高塚昌彦(親和会)

Q 各方面に気配りしたかのような盛りだくさんの施策、建設事業が示されたが、果たして実現できるのか。また、年次計画と「二ユー掛川市建設十カ年計画」がでか上がっている。これを公表すべきではないか。

A 東環状線、西環状線については県にお願いしていくが、四年間やらせていただいた感じから言えば実現可能ではないかと思っっている。私が再選された場合には、議会にできるだけ速やかに示し検討願いたい。

一般質問

Q&A

Q 国は、医学部定員の拡大や新臨床研修制度の見直し、医師が都市に集中しないような予算措置、国会では「看護職員確保法」が全会一致で採択された。現在は予算も伴う医療打開策が検討され始めている。一方で、新病院の費用負担で袋井側から、掛川市、無償貸与」など不当な押し付けにも何も言わない市長。今は厳しいけれど、市民と協力して地域医療を守れば、将来には見通しがある時代に変わってきている。市長の統合最優先の進め方は拙速すぎないか。

A 近年の医師不足は年間三、四百人の医師を全国で増やしても相当の時間をかけないと地方の病院まで充足できるものではない。現病院の地での考えは全く無く、新病院の土地を無事に取得することが重要である。袋井との統合が成功すれば全国から注目され、医師不足解消への先鞭を切ることに



掛川市立総合病院

【他の質問事項】
原発問題、経済不況対策

新病院建設は拙速

水谷陽一(日本共産党)

Q 国は、医学部定員の拡大や新臨床研修制度の見直し、医師が都市に集中しないような予算措置、国会では「看護職員確保法」が全会一致で採択された。現在は予算も伴う医療打開策が検討され始めている。一方で、新病院の費用負担で袋井側から、掛川市、無償貸与」など不当な押し付けにも何も言わない市長。今は厳しいけれど、市民と協力して地域医療を守れば、将来には見通しがある時代に変わってきている。市長の統合最優先の進め方は拙速すぎないか。

A 近年の医師不足は年間三、四百人の医師を全国で増やしても相当の時間をかけないと地方の病院まで充足できるものではない。現病院の地での考えは全く無く、新病院の土地を無事に取得することが重要である。袋井との統合が成功すれば全国から注目され、医師不足解消への先鞭を切ることに

戸塚市政二期目の基本方針を問う

東堂陽一(親和会)

Q 各方面に気配りしたかのような盛りだくさんの施策、建設事業が示されたが、果たして実現できるのか。また、年次計画と「二ユー掛川市建設十カ年計画」がでか上がっている。これを公表すべきではないか。

A 東環状線、西環状線については県にお願いしていくが、四年間やらせていただいた感じから言えば実現可能ではないかと思っっている。私が再選された場合には、議会にできるだけ速やかに示し検討願いたい。

Q 「日本一環境都市」の実現可能性は

A 「日本一環境都市」を目指すということだが、具体的にどうなれば「日本一」と考えているのか。また、日本経済新聞社が実施した「全国都市サステナブル度調査」を、どう考察し施策に反映するか伺う。

A CO₂(二酸化炭素)を全力を尽くして減ら



東環状線予定方向(杉谷南)

【他の質問事項】
病診連携、
身体障害者駐車証

全国市区を対象に環境保全度、経済豊かさ度、社会安定度の三つの側面から調査をしたもの

一般質問

Q&A

A 家庭介護は大変だが、お年寄りが自分の一番好きな我が家で人生を送ることが重要と考える。在宅介護の意義を啓発し、子供や親族が要介護者の面倒をみるなど幅広く家族で支える態勢づくりに努めている。また、在宅介護の負担軽減や適正な措置を行うために往診等の体制整備や訪問看護などの在宅介護サービスの充実を図っている。

Q 掛川市は介護保険施設整備率も保険料も県内でトップクラス。施設介護を充実すれば保険料は上がるので在宅介護が推進されている。戦後の混乱期を第一線で誇りを持って活躍・働いてきたお年寄りに、住み慣れた地域、自宅で家族に見守られながら過ごさせたい。生涯学習の掛川市として、お年寄りを大事にするような家庭教育等からの在宅介護推進施策を伺う。



体操をするお年寄りの様子

【他の質問事項】
市民農園、環境保全センター跡地、行財政の計画的運営

高齢化社会の対応

八木宏之(親和会)

一般質問

Q&A

Q 市長就任以来、千四百十六日間を振り返ると、犬のおまわりさんや公用車のパトロール車化、マイバツク運動、ごみ減量、袋井市との統合新病院建設など、生活に身近な事業に取り組み成果を出した。しかし「希望がみえない」とか「市長が一人でしゃべって動いているだけ」という声もある。自己評価はどうか。



定例会開催の様子(議場)

A 四年間、休みなく働かせていただいたが非常に働きがいがあった。中国や韓国へのお茶の販売ができなかったことや浜岡線の整備が遅れたことは残念だった。市民の健康を第一に考え、安心・安全、交通事故、犯罪といったものが少ない明るい掛川市を目指してがんばってきた。

Q 高齢者専門の病院を含め、地域の皆さんの声に耳を傾け、十分な意見交換をしていく必要があると思うがどうか。
A 病院を作るために協力していただいた地元の要望を聞きながら色々な角度から研究し報いていきたい。

【他の質問事項】
お茶の販売促進策

戸塚市政「笑顔とまごころのまちづくり」四年間の評価

高木敏男(親和会)

Q 誰もが生涯を通じてスポーツに親しめる社会をつくるため、スポーツに關係する諸事業について、政策的・総合的にまとめた「掛川スポーツ振興計画」が必要ではないか。

A 掛川市におけるスポーツの現状・問題点・課題の整理を行い、基本的な考え方をまとめていく。また、小・中学校グラウンドの芝生化や、いこいの広場の再整備、大池公園周辺整備など、スポーツ施設の見直し、再整備が必要ではないか。



スポーツ設備の再整備を願う

本年度は検討委員会を設置する。子供が喜んでスポーツをする雰囲気をつくれるよう、小中学校グラウンドの芝生化は研究していく。公園周辺整備計画については二十一年度に計画し、二十二年年度ぐらいから一つ一つ着手していきたい。

Q 三代同居・近居の勧め
少子高齢社会、人口減少社会を克服するまちづくり戦略として、三代同居・近居を奨励し、優遇してはどうか。
A 国においても税制上の軽減措置の創設が検討されている。今後税制改正がされた場合には、固定資産税の軽減措置を実施することとなる。三代同居・近居を含むさまざまな市民ニーズに対応できるよう調査を行い有効な施策を展開したい。

【他の質問事項】
日の丸掲揚

スポーツ振興への取り組み

石山信博(みどりの会)

在留外国人問題

狩野 恒(創世会)

Q 経済状況の急激な変化により、在留外国人の窮状が顕著になった今、地方自治体での施策に限界がある。当市も参加している外国人集住都市会議での内容・方向性は。また、当市における「地域共生推進協議会」の中間答申による施策は。

A 外国人集住都市会議では法務省・総務省・文部科学省・外務省・厚生労働省の関係省庁と首長との直接討論が行われ、労働や教育問題など、現行の法制度についての政策提言を行った。

予算的なこともあるので答申をすべて実施できるわけではないが、担当課と知恵を絞って検討していく。また、答申を真摯に受けとめ、外国人も日本人も掛川市民として安心・安全に暮らせるまちづくりを目指したい。

Q 老人福祉センターの跡地は建物内のアスベスト問題がネックとなり、民間売却は不調に終わった。処理問題と今後の見通しについて伺う。

A 跡地の活用を図るため隣接農地への進入道路確保を最優先課題と考え、測量と分筆をし、土地・建物は普通財産とする手続きを進めている。その後民間に売却して跡地利用を図っていく計画である。

【他の質問事項】
地域自治



板沢老人福祉センター跡地

2月定例会における議案の審議結果(主なもの)

予算	平成21年度一般会計予算	(賛成多数可決)
	平成21年度国民健康保険特別会計予算	(賛成多数可決)
	平成21年度老人保健特別会計予算	(賛成多数可決)
	平成21年度後期高齢者医療保険特別会計予算	(賛成多数可決)
	平成21年度介護保険特別会計予算	(賛成多数可決)
	平成21年度財産区特別会計予算〔上西郷、桜木、東山、佐束〕	(全会一致可決)
	平成21年度病院事業会計予算	(賛成多数可決)
	平成21年度水道事業会計予算	(賛成多数可決)
	平成20年度一般会計補正予算(第3号)	(賛成多数可決)
	平成20年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	(賛成多数可決)
条例	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定	(全会一致可決)
	介護保険料増額抑制臨時特例基金条例の制定	(全会一致可決)
	掛川球場整備基金条例の制定	(全会一致可決)
	掛川市議会委員会条例の一部改正	(全会一致可決)
規則	掛川市議会会議規則の一部改正	(全会一致可決)
一般	公の施設の指定管理者の指定(森の都ならこの里)他7件	(全会一致可決)
人事	掛川市外2組合公平委員会委員の選任	(全会一致同意)
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	(全会一致同意)
	掛川市財産区管理委員の選任	(全会一致同意)

議会だより編集特別委員会より

4年間ご愛読いただきまして、ありがとうございました。
次号より新体制で議会だよりを引続きがんばりますので、よろしくお祈りいたします。



市議会だよりのあゆみ(抜粋)

一般質問

Q&A

どの子ども入園ができ、質の高い
保育行政か

鷲山喜久(日本共産党)

Q 我が子を保育園に入園させて働きたい母親は多くいる。子どもの気持ちや保護者、職員の風通しのよい、子どもを大切に、個性が伸びる園として、待機児童の解消と質の高い園になっているか伺う。

A 待機児童は掛川中央保育園と掛川葛ヶ丘保育園の開園によりほぼ解消できるかと考える。しかし保育要望は増加の傾向で、国へ定員の弾力化や定員増をお願いし、認可外保育園への補助事業は継続していく。発達段階を考えたきめ細かな保育を心がけ質の高い保育の実施に取り組んでいる。

Q 市長は、園跡地利用について、市有地の住宅化も検討されているが、関係する地域住民の要望がある。住民にとって最高最



宮脇保育園

A 大の利用価値が大切で、地元を優先するか伺う。地元の皆様と具体的な跡地利用に関する話し合いを持ち、財政状況の許す範囲で検討したい。

【他の質問事項】
雇用問題

可決された意見書(要旨)

地震財特法の延長に関する意見書

東海地震による災害から地域住民の生命と財産の安全を確保するためには、地震対策緊急整備事業計画の充実と期間の延長を図り、これらの事業を迅速かつ的確に実施することにより、地震対策の一層の充実に努めていかなければならない。

よって、国においては、地震対策緊急整備事業計画の根拠となっている「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長について、特段の配慮をされるよう強く要望する。

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、防災担当大臣、消防庁長官、林野庁長官、水産庁長官

浜松河川国道事務所・出張所存続を求める意見書

政府は「国から地方へ」と称し「地方における国の責任の放棄」を目的とした地方分権を推し進め、地方の最前線で働く地方整備局の事務所・出張所を廃止しようとしている。

近年全国で発生している局地的な集中豪雨等により、甚大な被害をもたらす恐れがあり、その場合の被害軽減対策の実施や災害への対応体制の構築が必要である。

掛川市にとって浜松河川国道事務所・出張所の存続は必要不可欠と考える。

よって、下記事項を実現するよう強く要請する。

記

- 1 地域住民の生命と財産を守る公共事業推進のため、中部地方整備局及び浜松河川国道事務所・出張所を存続させること
- 2 公共事業費の予算配分を防災や生活関連へ重点配分するとともに、浜松河川国道事務所・出張所の組織を災害時の迅速・適切な対応が執れる体制に拡充すること

提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、行政改革担当大臣

議 会 日 誌



【1月】

- 14日 議会だより編集特別委員会
- 16日 文教厚生委員会
- 20日 新病院建設特別委員会
- 21日 市議会全員協議会
議会運営委員会
- 23日 財政問題特別委員会
- 26日 地球温暖化対策特別委員会
- 28日 健康・福祉対策特別委員会

【2月】

- 4日 文教厚生委員会協議会
- 10日 経済建設委員会協議会
- 12日 掛川市・菊川市衛生施設組合議会
後期高齢者医療広域連合議会
- 16日 東遠広域施設組合議会
財政問題特別委員会
- 19日 市議会全員協議会
- 20日 議会運営委員会
議員懇談会
- 23日 小笠老人ホーム施設組合議会
東遠工業用水道企業団議会
- 24日 太田川原野谷川治水水防組合議会
中東遠看護専門学校組合議会
浅羽地域湛水防除施設組合議会
- 25日 東遠地区聖苑組合議会
- 26日 東遠学園組合議会
- 27日 ~ 3月24日
掛川市議会第1回(2月)定例会

【3月】

- 4日 文教厚生委員会協議会
経済建設委員会
現地視察
- 5日 議会だより編集特別委員会
- 10日 市議会全員協議会
議会運営委員会
新病院建設特別委員会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 議会だより編集特別委員会

【4月】

- 2日 議会だより編集特別委員会
- 7日 議会だより編集特別委員会

- 7日 **【7月】** 本会議、委員長報告、質疑、採決
- 30日 企業会計決算特別委員会
- 26日 本会議、議案質疑、委員会付託・常任委員会
- 25日 本会議(一般質問)
- 24日 本会議(一般質問)
- 16日 本会議、議案の提案説明
- 14日 **【5月】** 臨時会(議会構成等)
- 6日 **【6月】** 本会議、議案の提案説明

5月臨時会・6月定例会の予定

傍聴席

私が初めて市議会の一般質問を傍聴したのは7年前でした。勤務先が掛川市外であった為、なかなか機会がありませんでした。しかし、年を重ねるうちに、掛川を知ろうと思う気持ちが強くなったのです。更にもっとも気になったのが、当選後の議員さん達のその後の活動でした。動きのわからない方が多いのです。まさか当選が目的みたいに一件落着なんてことは無いと思いますが、傍聴はとても良い手段でした。議員さんにとって質問者になるということはプレッシャーである反面、晴れ舞台でもあります。そして何よりも日頃の努力と力量が要求されることがわかります。いずれにせよ、私達有権者は、投票した者の責任として、「傍聴席」から議員さん達の「その後」に関心を持ちたいと思います。

向笠由紀子(研屋町)

行政視察受入状況 (平成20年度)

年間視察件数・・・79件(648人)

視察項目・・・33項目(述べ視察件数99件)

【主な視察内容】

- 幼保再編計画
- 議会運営
(政策議会、円形議場、議会だより等)
- 環境大臣賞
(マイバック運動、レジ袋有料化、太陽光発電等)



視察対応の様子(茨城県結城市来庁)

編集後記

市民のみなさんと議会を結び市政のより良い発展の一助にと毎号の発行に努力してきました。私たちが編集委員は素人集団ですが、市の広報との違い、議会用語の排除、写真を多くなどに努力してきました。

先日、掛川市議会だよりを研修したいと茨城県結城市議会の十名の議員が視察にきました。結城市の編集委員のみなさんが評価したのは、掛川市議会あげて「特別委員会」体制で編集・発行をしていることでした。

当委員会は新議会のもと、議会だよりの更なる到達点を目指します。

「ご意見・ご指導をよろしくお願います。」

平成21年度
市議会だより編集特別委員会
委員長 水谷陽一